



この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCWI)」に寄付されています。

株主メモ

■証券コード	2321
■上場年月日	2002年9月10日
■上場証券取引所	東京証券取引所 「JASDAQ」
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月開催
■基準日	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
■公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.softfront.co.jp/
■株主名簿管理人の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■お問い合わせ先	【郵便物送付先】
	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	【電話照会先】 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)
	【ホームページ】 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会下さい。



Softfront Report

2015年3月期通期

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2015年3月期決算につきまして

2015年3月期の決算につきまして、ご報告いたします。

当連結会計年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の業績は、売上高397百万円、営業損失389百万円、経常損失388百万円、当期純損失412百万円となりました。

国内の拠点統合、及びその後の体制強化等に時間を要したことに伴い、新規顧客獲得活動及び既存顧客への新規提案活動が十分に出来なかったことの影響などから、引き続き営業損失となり、株主の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけすることとなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

2016年3月期における取り組み

当社は、2013年5月10日付で発表した『成長』をテーマとした中期経営方針の下、今期は『3つの事業領域で成長』と『内なる成長として、収益性と生産性の向上』の2つの重点課題に対する取り組みを更に推し進め、業績の安定と拡大に努めてまいります。

『3つの事業領域での成長』に向け、各事業でも新たな取り組みを始めております。

既存事業領域では事業拡大に向け、通信事業者及び複合機メーカーを中心に取引拡大を図り、保有する自社ソフトウェア製品資産を十分に活用する様々な案件に対応してまいります。

サービス事業領域ではデジタルポスト関連事業の強化・拡大を進め、新たなサービス提供に向けたパートナー企業との協業を実現。また、当社の保有する技術資産やノウハウを通じ、スタートアップ企業の事業成長をサポートする取り組みを引き続き進めてまいります。海外事業領域ではベトナム国法人SOFTFRONT VIETNAM CO., LTD.において、開発拠点としての体制を強化してまいります。また日本発の自社ソフトウェア製品群を、ベトナム国内で市場展開するための活動を推進いたします。

『内なる成長として、収益性と生産性の向上』として黒字達成のため、技術的差別化が図れる研究開発を進めることにより、当社グループの強みを再構築し、収益の拡大に繋げてまいります。更に、ベトナム子会社の開発力を活用し、グローバル化によるコスト低減と開発力増強を進め、収益性と生産性の向上を図ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月 吉日

代表取締役社長 阪口克彦

ソフトフロントは、**3つの事業領域で成長** **内なる成長として、収益性と生産性の向上** を経営基本方針としています。

2013年5月に掲げた「成長」をテーマとした3カ年の「中期経営計画」のもと、「3つの事業領域で成長」と「内なる成長として、収益性と生産性の向上」を重点課題と定めて事業を進めております。2016年3月期は「中期経営計画」の最終章として、更なる取り組みを推し進め、業績の向上に努めてまいります。

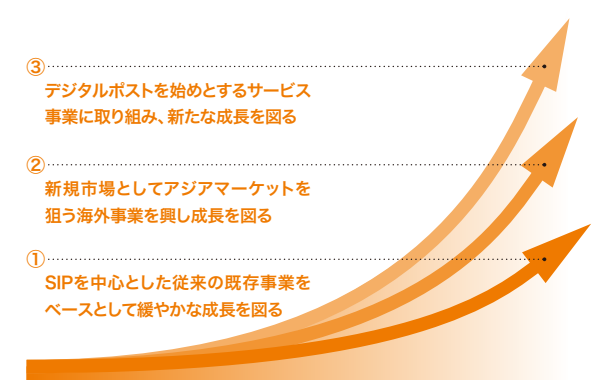
3つの事業領域で成長

3つの事業領域の成長に向けて

SIPを中心とした既存事業をベースとして緩やかな成長を支え、海外事業とサービス事業で成長を加速し、全社として収益基盤の拡大と規模拡大を達成いたします。

2016年3月期の取り組み

既存事業を中心に、海外事業・サービス事業の収益基盤を強化し、更なる成長に向けた新たな製品・サービスへの取り組みを進展させることで黒字化を目指します。

- 
- ③ デジタルポストを始めとするサービス事業に取り組み、新たな成長を図る
 - ② 新規市場としてアジアマーケットを狙う海外事業を興し成長を図る
 - ① SIPを中心とした従来の既存事業をベースとして緩やかな成長を図る

内なる成長として、収益性と生産性の向上

内なる成長として、収益性と生産性の向上に向けて

研究開発エンジニアの人材プールとコスト力のある海外開発拠点により、収益性の向上と生産性の向上を実現いたします。

2016年3月期の取り組み

2014年6月に国内開発拠点を東京本社に一元化し、開発リソースを集中いたしました。ベトナム子会社の開発力をより一層強化し、収益性の向上と生産性の向上を実現いたします。

- リソースを集中することで、プロジェクト管理の徹底
開発リソースを集中し、効率よいプロジェクト管理を行います。
- 研究開発資産の管理とメンテナンス、新規開発実施
研究開発資産のより効率的な管理とメンテナンス、新規開発を行います。
- グローバル化によるコスト低減と開発力増強
グローバル体制で研究開発のコスト低減と開発力増強を行います。
- 人材育成と適切な配置による生産性向上
人材育成強化と適切な人材配置によって生産性向上を行います。

2014
4 Apr

4月7日

サムライインキュベートと協業し
スタートアップ企業を支援

5月13日

本店移転及び定款一部
変更に関するお知らせ8 公認会計士等の異動に
関するお知らせ

9月30日

アピアリーズと協業しスタートアップ
企業を支援

12 Dec

2015
1 Jan

2 Feb

7 Jul

7月1日

本店移転日及び札幌本社廃止に
関するお知らせ

7月15日

KDDIと協業しスタートアップ
企業を支援

6 Jun

6月20日

J-Paymentと協業しスタートアップ
企業を支援

6月30日

「LivyTalk」がNTT西日本「スマート
光ライフアプリ」の連携アプリに採用

10 Oct

10月1日

「LivyTalk For 光だんらんTVライト」がNTT
アイティの「ひかり健康相談」サービスと連携

11月14日

HD画質に対応したテレビ会議ソフトウェア
「HelloMeeting HD」シリーズを提供開始

11月26日

「HelloMeeting Pro HD」がNTT西日本
の「ひかりシェアプレイス 高画質テレビ
会議パック」に採用

11 Nov

FINANCIAL SECTION 1 | 財務諸表

■ 貸借対照表

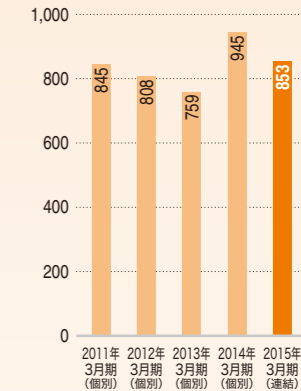
(単位:千円)

	第17期 2014年3月期 (個別)	第18期 2015年3月期 (連結)
資産の部		
I 流動資産	692,190	662,841
II 固定資産	253,290	191,150
有形固定資産	10,892	-
無形固定資産	156,076	146,934
投資その他の資産	86,321	44,215
資産合計	945,481	853,992
負債の部		
I 流動負債	79,300	59,541
II 固定負債	24,000	18,000
負債合計	103,300	77,541
純資産の部		
I 株主資本	837,002	771,664
資本金	3,019,263	3,196,761
資本剰余金	2,801,423	2,978,921
利益剰余金	△4,983,684	△5,403,954
自己株式	-	△64
II その他の包括利益累計額	-	4,780
III 新株予約権	5,178	5
純資産合計	842,180	776,450
負債純資産合計	945,481	853,992

※当社は第18期より連結財務諸表を作成しております。

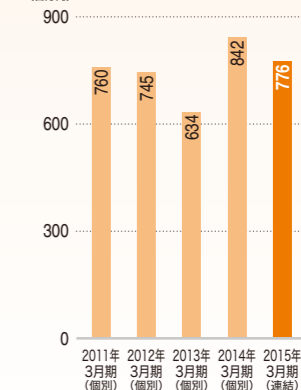
■ 総資産

(百万円)



■ 純資産

(百万円)



FINANCIAL SECTION 2 | 財務諸表

■ 損益計算書

(単位:千円)

	第17期 2014年3月期 (個別)	第18期 2015年3月期 (連結)
I 売上高	597,326	397,705
売上原価	328,083	280,936
II 売上総利益	269,243	116,768
販売費及び一般管理費	477,053	506,659
III 営業損益	△207,810	△389,890
営業外収益	68	3,598
営業外費用	6,218	1,967
IV 経常損益	△213,960	△388,259
特別利益	3,610	-
特別損失	35,000	22,411
V 税金等調整前当期純損益	△245,350	△410,670
法人税、住民税及び事業税	2,420	1,512
VI 当期純損益	△247,770	△412,183

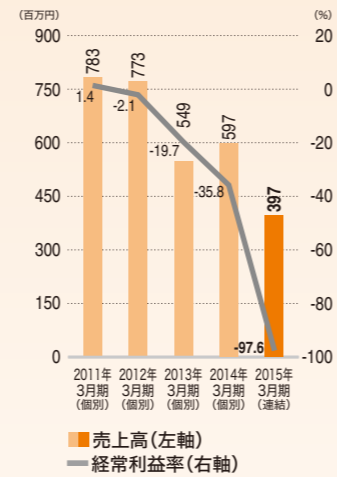
■ キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

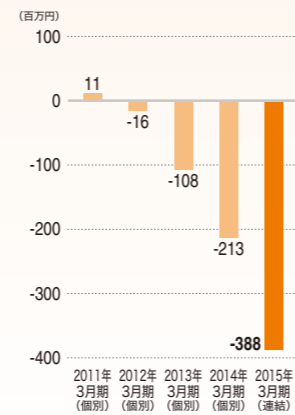
	第17期 2014年3月期 (個別)	第18期 2015年3月期 (連結)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,865	△274,657
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,962	△106,877
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	435,295	342,378
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-	2,578
V 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	285,467	△36,578
VI 現金及び現金同等物の期首残高	213,810	499,278
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	18,049
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	499,278	480,749

※当社は第18期より連結財務諸表を作成しております。

■ 売上高/経常利益率



■ 経常損益推移



INFORMATION | インフォメーション

■ 株式の状況

2015年3月31日 現在

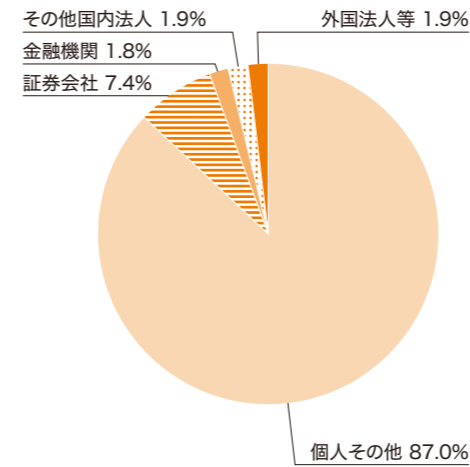
発行可能株式総数	32,440,000株
発行済株式総数	14,586,697株
株主数	7,781名

■ 大株主

2015年3月31日 現在

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
村田 利文	574,468	3.93
長屋 正宏	380,700	2.60
株式会社SBI証券	330,900	2.26
日本証券金融株式会社	244,100	1.67
松井証券株式会社	226,500	1.55
山川 元志	172,300	1.18
大和証券株式会社	152,000	1.04
畠山 敬一郎	140,300	0.96
野村證券株式会社	118,900	0.81
佐々木 誠	111,500	0.76

■ 所有者別状況



■ 株価の推移

